

山口県感染症発生週報

(第33週:平成23年8月15日～8月21日)

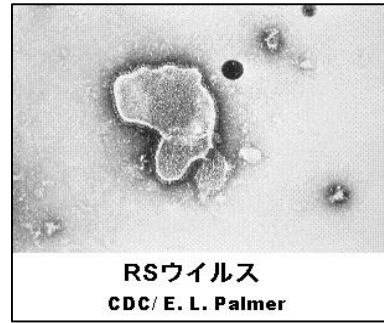
1 全数把握感染症

【2類感染症】

◆結核: 第31週追加:1例(周南)。第32週追加:3例(下関1例、周南2例)。第33週:3例(下関、周南、防府)。

【3類感染症】

◆腸管出血性大腸菌感染症: 第33週:1例(下関 O145:VT1)。



RSウイルス
CDC/ E. L. Palmer

2 定点把握感染症(5類感染症)

(1)特記事項

◆RSウイルス感染症: 今年は例年より早く増加傾向がみられますので、今後の動向に注意が必要です。

◆手足口病: 山口県では、第25週時点で手足口病の流行発生警報の発令をしています。第27週をピークに6週連続して減少し、報告数はピーク時のおよそ1/7となりました。地域別には、防府が今週再び警報レベルとなりましたが、萩は警報レベルの終息基準値を下回りました。

【警報レベル=萩以外のすべての地域】※

◆伝染性紅斑: 過去4年間の同時期と比較すると、今年4年ぶりに高い水準で推移しています。

【警報レベル=長門】※

◆流行性耳下腺炎: 警報・注意レベルの地域はありませんが、過去4年間の同時期と比較すると多い状況が2010年から続いています。

◆マイコプラズマ肺炎: 報告数がやや多くみられる週が続いていますが、今週は報告数がさらに増加しています。

◆無菌性髄膜炎: 下関から1例報告がありました。患者は4歳で、原因病原体は不明です。

※警報レベル・注意レベルの基準値詳細についてはHPをご覧ください。
<http://kanpoken.pref.yamaguchi.lg.jp/jyoho/report2011/keihotyuuho.php>

(2)週別発生状況

疾患名	31週	32週	33週	疾患名	31週	32週	33週
インフルエンザ	0	0	0	百日咳	0	1	0
RSウイルス感染症	7	19	23	ヘルパンギーナ	37	48	31
咽頭結膜熱	14	11	9	流行性耳下腺炎	58	43	49
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	45	52	32	急性出血性結膜炎	0	0	0
感染性胃腸炎	120	108	133	流行性角結膜炎	2	6	3
水痘	44	55	31	クラミジア肺炎	1	0	1
手足口病	457	367	197	細菌性髄膜炎	0	0	0
伝染性紅斑	32	26	20	マイコプラズマ肺炎	8	8	14
突発性発しん	40	42	36	無菌性髄膜炎	0	1	1

(3)地域別発生状況

疾患名	下関	岩国	柳井	周南	防府	山口	宇部	長門	萩	全体
インフルエンザ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
RSウイルス感染症	11	3	0	0	0	2	7	0	0	23
咽頭結膜熱	1	3	0	2	0	1	0	0	2	9
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	6	5	0	8	1	8	3	0	1	32
感染性胃腸炎	20	7	3	41	5	34	15	8	0	133
水痘	2	3	1	4	1	9	9	2	0	31
手足口病	35	31	15	44	19	25	18	9	1	197
伝染性紅斑	0	3	0	2	1	6	3	5	0	20
突発性発しん	5	3	1	4	3	13	4	3	0	36
百日咳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ヘルパンギーナ	4	4	0	7	1	4	10	0	1	31
流行性耳下腺炎	17	9	3	6	0	9	5	0	0	49
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
流行性角結膜炎	2	1	0	0	0	0	0	0	0	3
クラミジア肺炎	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
マイコプラズマ肺炎	4	3	0	3	0	3	1	0	0	14
無菌性髄膜炎	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1

※平成23年8月31日、平成23年9月1日に報告数の追加及び修正がありましたので、データの一部を修正しました。